

## AED講習会 11月11日(火) (主管 防災対策部)

一刻を争う救急患者を救うには、救急車が到着するまでの間、その場にいる人による救急手当が重要。みっちり3時間の講習でした。

**心肺蘇生(胸骨圧迫30回+人工呼吸2回)とAEDの組み合わせで救急車が来るまで継続。**

### 1) AEDの準備

救急手当を行っている途中に、AEDが届くと、すぐにAEDを使う準備をします。

### 2) 電源を入れる

ケースからAEDを取り出し、電源ボタンを押します。機種によってはふたを開けると電源が入るタイプもあり。

### 3) 電極パッドを貼り付ける

1枚のパッドを胸の右上、もう1枚を胸の左下側の肌に直接貼り付け。

### 4) 心電図の解析

誰も患者に触れていないことを確認してください。

### 5) 電気ショックと心肺蘇生の再開

解析が終わり、電気ショックが必要な場合は「電気ショックが必要です」という音声メッセージ

周囲の人に患者に触れないように伝え、通電ボタンを押し、電気ショックを行います。

電気ショックのあとはすぐに心肺蘇生を再開します。

### 6) 心肺蘇生法とAEDの手順のくりかえし

電気ショック後、心肺蘇生を再開して2分が経過するとAEDが自動的に心電図の解析を始めます。

以降、約2分おきに心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。患者が動き出すか、救急隊に引き渡すまで続けます。



## 真剣なまなざしで受講

